

インターネットと社会参加

日時 2013年12月6日(金) 18:30～

会場 立教大学 12号館 2階会議室

http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/_asset/pdf/img-campusmap_ike.pdf

2000年代におけるインターネットの国際的な普及において、インターネットが促進する社会参加・社会運動の可能性はさまざまな形で語られ、実際にいくつかの新たな社会現象をもたらしてきた。そうした社会参加は、近年のTwitterやFacebookなど、情報サービスの国際的な浸透、および情報機器としてのスマートフォンの普及により、新たな展開を見せており、社会参加におけるネットワークの形成をグローバルな文脈の中でとらえ返す必要性が示されている。

本研究会では、IT development in Korea (Routledge, 2012)などの著作において、アメリカおよび韓国におけるインターネット文化の展開について研究されてきたイ・グァンソ教授をこのたび講演者として招き、韓国社会に対してITがもたらした社会活動の展開について話題を提供していただく一方、グローバル文化インターネットと公共圏について、理論と実証の両面から研究をされてきた伊藤賢一会員を討論者に迎えてディスカッションを行い、新たな研究視点を探る機会としたい。

講演者：イ・グァンソ (Lee Kwang-Suk) ソウル科学技術大学 IT政策専門大学院主任教授

「サイバー社会活動の拡大：韓国におけるデジタル・アクティビズム小史」(英語・通訳あり)

本研究では、韓国におけるインターネットとモバイルテクノロジーの展開を、サイバー・アクティビズムという視点から、より広い社会構造の中に位置づけることを目的とする。公共圏における市民参加と、そこにおけるテクノロジーの使用は、現在のモバイル技術とSNSによって、どのように特徴づけられるのだろうか。この問いに対して、韓国におけるインターネットが、権力の抑圧に対する意識を高め、既存のメディアにも影響を与えながら、感情的な連帯を築き上げることになったという可能性を呈示する。

討論者：伊藤 賢一 会員 (群馬大学)

司会：是永 論 研究活動委員 (立教大学)

※なおこの研究会は、科学研究費助成事業による研究「メディアの表現構成における社会的規範を通じた理解の実践に関する研究」(課題番号：24530667、研究代表者：是永論)の一環として行われる。